

玉野高放送部員2人 声で火災予防

「火の元十分注意して」

玉野高校の放送部員2人の声の火災予防啓発メッセージが、秋の火災予防運動（11月9～15日）から1年間、市内全域を巡回する市消防本部の啓発車両のスピーカーから流れる。若々しい声で市民に火の用心を呼び掛ける。



若者の関心上狙う 防火協頼 依

玉野地区防火協会が依頼。声の主は、いずれも1年生で部長の三木稚菜さん(15)、副部長の原田朱理さん(16)。秋の火災予防運動▽年末特別警戒▽乾燥、強風波浪注意報▽特別警戒▽墓地火災予防▽林野火災防止対策特別強化期間―の六つのパターンを分担した。

「空気が非常に乾燥し、火災の起こりやすい季節になりますので、火の元、火の取り扱いには十分注意してください」「お線香、ろうそくなどの火は、完全に消してからお帰りください」。録音は26日に校内であり、正しいイントネーションや間の取り方などに注意しながら慎重に吹き込んだ。2人は「緊張したけど、やりがいを感ずる。ゆっくりしゃべるようにした。メッセージを聞いた人が気が減るとうれしい」と話していた。

高校生の声による啓発メッセージは、市民に聞き流されず、若い世代にも防火への関心を高めてもらうのが狙い。昨年は玉野商業高校の生徒に依頼した。(岡本遥加)

防火協頼 依

火災予防を訴える啓発メッセージを収録する玉野高校放送部の(左から)三木さん、原田さん

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。